

「東京都女性活躍推進計画 令和2年度取組実績」

30 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		令和2年度取組実績
領域Ⅰ 働く場における女性の活躍		
④ 若者のキャリア教育の推進		
ア. 若者のキャリア教育の推進		
11	<p>☆女性のための活動「夢を拓く 女子中高生のためのキャリア・サポート」の開催</p> <p>知識や手本を得ることで、女兒がエンパワーされ、キャリア・ゴールを追求し、その潜在能力を發揮できるよう、その機会を提供します。</p>	<p>リジョンからクラブにサポートを行い、このプログラムへの参加をさらに推進するべく、開催例を提示、資料を用意し、担当委員会から希望するクラブを訪問や指導を行った。結果として次第に理解が深まり、開催希望のクラブが増えていたが、令和2年1月から新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校休校や、訪問、会合が行うことができなくなり、ほとんどすべての予定は中止をせざるを得ない状況となった。その中で担当役職者の所属するクラブでオンラインで短縮した内容でのプログラム開催を実施、ビデオを撮影したので、参考例として他のクラブに紹介した。</p>
⑥ 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援		
ア. 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援		
15	<p>(1)女性のための顕彰活動により、女性のチャレンジを支援します。</p> <p>「夢を生きる 女性のための教育・訓練賞」 対象:扶養家族に対し主たる経済的責任を負っている女性で、生活レベルアップを目指して専門学校、大学課程の入学許可を得ており、かつ経済的援助が必要な女性</p> <p>☆(2)母子家庭の現状について講演会等を開催、支援します。</p>	<p>(1)「夢を生きる賞」は例年と同じく実施、さらに応募者の増加を目指していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でクラブでの候補者探しは難航した。しかし、社会状況の悪化のため、応募者からのコンタクト、施設経由での応募が増え、49件の応募総数となった。昨年度より2件減ったものの、コロナ感染拡大の影響が弱い立場の女性に厳しいものであったことが応募内容からも伺え、この賞の重要性を皆が痛感した。賞の条件に外れていても支援が必要な女性を探し出して手を差し伸べることの重要性を強調し、クラブ間で応募者を分かち合い、少しでも多くの支援を提供できるように働きかけた。</p> <p>(2)クラブ主導で実施</p>
領域Ⅱ 女性も男性もいきいきと豊かに暮らせる東京の実現		
1 生活と仕事の調和（ライフ・ワーク・バランス）の実現		
③ 妊娠・出産・子育てに対する支援		
ア. 地域での子育て支援		
24	<p>子育てに対する支援</p> <p>(1)養護施設・保育所・幼稚園に対し、童話の読み聞かせなどの訪問活動及び支援を実施します。</p> <p>(2)子育て相談室開設への支援を行います。</p> <p>☆(3)「子供の貧困」をテーマとし講演会を開催、子ども食堂などを支援します。</p>	<p>クラブ主導で実施</p>
	<p>児童虐待など被害児童の「子どものためのシェルター」の活動を支援します。</p>	<p>クラブ主導で実施</p>
	<p>女子自立援助ホーム等への訪問及び運営活動の支援を行います。</p>	<p>クラブ主導で実施</p>

30 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		令和2年度取組実績
2 地域における活動機会の拡大		
ア. 地域における男女平等参画の促進		
30	<p>(1)地域社会への貢献 行政、他団体とタイアップして女性の地域社会への参加を促進します。</p> <p>(2)女性の社会活動の実践 各クラブ単位での講演会や催し物を企画・開催するなど、女性の社会活動を実践していきます。</p> <p>(3)提唱活動 内閣府男女共同参画推進連携会議や国際ソロプチミストアメリカ連盟会議に参加し、提唱活動を行います。</p>	<p>(1)、(2)クラブ主導で実施 (3)内閣府男女共同参画推進連携会議 議員(5リジョンを代表する。令和2年度は日本中央リジョン会員)より、新しい情報があるたびに月1回発送のリジョンメールで会員全員に向けて発信した。</p>
3 男女平等参画を推進する社会づくり		
③ 教育・学習の充実		
イ. 多様な学習機会の提供		
40	<p>(1)各クラブより選出された高校生約100名によるユース・フォーラムを隔年で開催し、これからの社会を担う若い女性のリーダーシップの育成を図ります。2017年のフォーラムのテーマは日本における男女格差についてを取り上げます。</p> <p>(2)高校生に対しての奨学金制度を実施します。</p>	<p>(1)2年に一度の開催のため令和2年には開催なし。ただし、2020年7月より新役員が就任し、ユース・フォーラム実行委員長が選定され、第12回日本東リジョン・ユース・フォーラムを2021年7月に開催することを決定した。第11回と同じく、ジェンダー論の第1人者である東京大学大学院教授 瀬地山角先生に講演と当日の生徒の指導を依頼して大まかな計画を立て始めた。</p> <p>(2)クラブ主導で実施</p>
イ. 各年代に応じた健康支援及び性教育		
51	<p>森林療法、子供の食育、女性特有のがんの早期発見等の提唱活動を行います。</p>	<p>クラブ主導で実施</p>